



2024年3月に竣工した水澄工場

- 本社所在地：石川県金沢市稚日野町南3 17番地3
- 事業概要：精密板金・組立・塗装・提案設計
システム開発・販売
- 常時使用する従業員：189名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：33億円
(2025年3月期)
- 法人番号：9220001002808
- Web：<https://team-kobayashi.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小林 靖典

企業理念：会社の発展と社員一人ひとりの幸せを追求する
ミッション：地域社会と協働し顧客のニーズにお応えする『世界一の板金製造会社』となる

当社は独自に開発した生産管理システムSopak-DXと、世界最新の板金加工機と職人技が融合した生産体制により最高の「Q・C・D」による精密板金製造を目指し、この10年の売上は、毎年平均11%の成長を実現しました。社員は同志、顧客も同志、地域・取引先も同志、共に「凋落した日本の製造業を復活させ世界一となる」という目的に向かって協働し、怒涛のような時代の荒波を共に乗り越え、成長し達成させていきたいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

国内板金事業は、半導体製造装置メーカー向けが2025年は低迷しても2030年までには市場は1.5倍と活況になり、毎年、年率10%以上成長すると予想され、更に、北米を中心とした海外板金事業は年率10%、システム販売事業は年率20%、ロボット事業は年率10%成長し続け、2038年には、売上高100億円超えを目指す(次頁グラフ参照)

課題

- 板金事業部の現時点の生産力のMaxは売上高50億円までだが、その倍の100億円に対応できる生産力に増強する
- 売上高100億円（現状の3.3倍）を迎え撃つ盤石な上層部の育成と社員を2倍に増員しても一致団結し続ける強固な組織体制にする
- 海外の営業拠点を強化し、日本で製造した製品を世界へ輸出する
- 自社用に開発したシステム・産業用ロボット機器を外販する

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 売上増強に対応するための、生産力増強と人員増強及び無人化を目的とした自動化を図る
- 100億企業の経営者と各部門長を目指し、意識改革し、全社に波及させ、社員全員の「一致団結した風土」を目指す組織改革する
- 海外の営業拠点を中心に展示会出展し、Webによる設計提案営業を展開によって新規顧客開拓し、日本で製造した製品を輸出する
- 新たなビジネスモデル（外販用に改良した自社開発ロボットやシステム）のショールームを構築した新工場を建設する

実施体制

- 最先端の加工機・ロボットを導入し生産力増強、Sopak-DXシステム、AGV（無人搬送車）を活用し、省力化を図る
- 経営者と各部門長とのPDCA会議を2週間毎に繰り返し、意識改革する。そのアクションを、部門長はメンバーと共有・実行し、改善会議を実施することで一致団結した組織力強化をし続ける
- アメリカ在住の営業マンを増強するために、Web営業会議を毎日実施し、進捗状況を共有して早期PDCAを回す
- 自社開発したロボットやシステムを活用したモデル工場として展示、ショールーム化して、顧客に来場いただき外販・拡大する

売上高100億円達成予測

●国内板金事業の半導体製造装置メーカー向けは、2025年は低調ですが、2027年からは市場は活況となり、毎年年率10%以上の成長が予想されます。2030年には売上高50億円に到達し、2038年には、売上高100億円を超えると予想しています。
更に、北米を中心とした海外板金事業は年率10%、システム販売事業は年率20%、ロボット事業は年率10%の成長を目指します。

